

さくらい 市議会だより



題字 奈良県立桜井高校書芸コース 榎 玲良 さん
写真 「紅葉と石」 談山神社

定例会概要4
議案議決結果.....5～6
常任・決算特別委員会.....6～8
代表・一般質問.....8～10

トピックス

行政視察を行いました

産業建設委員会

▶期間 令和5年10月16日㊿

▶目的 ●大阪関西万博開催の経済、観光への影響について（大阪市）



文教厚生委員会

▶期間 令和5年10月17日㊿～18日㊿

▶目的 ●保育士不足を補う子育て支援員の活用について（岐阜県瑞穂市）●部活動地域移行について（岐阜県羽島市）



一般会計・各特別会計 及び各企業会計決算を認定

令和5年9月定例会は、 9月6日㊿～28日㊿までの 23日間の会期で開かれ、令 和4年度各会計決算、令和 5年度一般会計補正予算、 条例の一部改正、損害賠償 の額を定めること、工事請 負契約の金額の変更、市道 の認定及び変更を中心に審 議を行いました。	令和5年度一般会計及び 特別会計補正予算4件
◆報告案件.....6件	◆条例の一部改正2件
◆令和4年度決算認定8件	◆損害賠償の額を定める こと1件
	◆工事請負契約の金額の変 更1件
	◆市道の認定及び変更5件
	◆発議案.....3件
	◆人事案件.....4件

主な議案議決結果

議案番号 (付託委員会)	件名	概要	議決結果
報第12号	専決処分の報告、承認を求めることについて（損害賠償の額を定めることについて）	損害賠償額 21万 1,150円 市内で発生した物損事故について損害賠償の額を定める	承認
報第13号	専決処分の報告、承認を求めることについて（損害賠償の額を定めることについて）	損害賠償額 20万円 市内で発生した物損事故について損害賠償の額を定める	承認
報第14号	専決処分の報告、承認を求めることについて（損害賠償の額を定めることについて）	損害賠償額 48万 4,920円 市内で発生した道路管理瑕疵による車両の破損について損害賠償の額を定める	承認
認第1号 (決算特別委員会)	令和4年度桜井市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入決算額 256億 9,058万 278円 歳出決算額 243億 2,286万 2,837円	認定 ※次頁「各議員の賛否」参照
認第2号～ 認第6号 (決算特別委員会)	令和4年度桜井市各特別会計歳入歳出決算認定について	住宅新築資金等貸付金、国民健康保険、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療	認定
認第7号～ 認第8号 (決算特別委員会)	令和4年度桜井市各公営企業会計決算認定について	水道事業、下水道事業	認定
議案第23号 (総務委員会)	令和5年度桜井市一般会計補正予算（第3号）	補正額 2億 4,678万 9,000円 農林業施設災害復旧費で、令和5年6月の集中豪雨被害による水路及び頭首工復旧等にかかる測量設計委託料（補助）及び災害復旧工事費（補助）等	可決
議案第24号	令和5年度桜井市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	補正額 388万 1,000円 産前産後期間における国民健康保険税免除にかかる国民健康保険システム改修等委託料	可決
議案第25号	令和5年度桜井市介護保険特別会計補正予算（第1号）	補正額 2億 8,998万 4,000円 令和4年度介護給付費等負担金の精算に伴う国庫負担金等の返還金等	可決
議案第26号 (文教厚生委員会)	桜井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	健康保険証がマイナンバーカードに一体化されることに伴い、健康保険証による目視での福祉医療費助成等の受給資格確認方法から、個人番号独自利用事務として、マイナンバーでの情報連携による確認を行うための所要の改正	可決 ※次頁「各議員の賛否」参照
議案第27号 (総務委員会)	桜井市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	マイナンバーカードの利用者証明用電子証明書が、移動端末設備（スマートフォン）に搭載可能となることから、移動端末設備用利用者電子証明書が搭載されたスマートフォンを利用して、コンビニエンスストア等での印鑑登録証明書の交付を可能とするための所要の改正	可決
議案第28号 (産業建設委員会)	損害賠償の額を定めることについて	損害賠償額 55万 1,300円 令和4年度分「水田活用の直接支払交付金」に係る市の申請誤りにより、相手方の農事組合法人が本来受けるべき当該交付金の額に不足が生じ、損害を与えたもの。	可決

議案番号 (付託委員会)	件名	概要	議決結果
議案第 29 号	工事請負契約の金額の変更について	1 契約の目的 分庁舎改修工事 2 変更前の契約金額 1 億 4,850 万円 3 変更後の契約金額 1 億 5,735 万 5,000 円	可決
議案第 30 号～ 議案第 33 号 (産業建設委員会)	市道路線の認定について	道路法第 8 条第 1 項の規定に基づき市道路線を認定することについて、同条第 2 項の規定により議会に議決を求めるもの	可決
議案第 34 号 (産業建設委員会)	市道路線の変更について	道路法第 10 条第 3 項の規定に基づき市道路線を変更することについて、同法第 8 条第 2 項の規定により議会に議決を求めるもの	可決
議案第 35 号	令和 5 年度桜井市一般会計補正予算 (第 4 号)	補正額 460 万円 農林業施設災害復旧費で、令和 5 年 8 月の集中豪雨災害による農地法面崩落にかかる測量設計委託料 (補助) 及び災害復旧工事費 (補助)	可決
発議案第 4 号	脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー (循環型経済) の推進を求める意見書の提出について	提出先 環境大臣、経済産業大臣、国土交通大臣	可決
発議案第 5 号	ブラッドパッチ療法 (硬膜外自家血注入療法) に対する適正な診療上の評価等を求める意見書の提出について	提出先 国土交通大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣	可決
発議案第 6 号	議員派遣の件	行政視察 文教厚生委員会所属議員 産業建設委員会所属議員	可決
諮第 1 号～ 諮第 4 号	人権擁護委員候補者の推薦について	西岡良文氏、中森志保子氏、榮嶋勇次氏、浦前正巳氏	承認

各議員の賛否 (賛成…○、反対…×、棄権…△、欠席…ー)

※小西副議長は、札辻議長に代わり議事進行し表決に加わっておりません。

議員 議案	鍛治 結花	久保田裕一	島岡 誠	杉山 歳和	山岡 康了	工藤敏太郎	小西 誠次	大園 光昭	井戸 良美	大西 亘	阪口 豊	西 忠吉	岡田 光司	土家 靖起	東 俊克	札辻 輝巳
認 第 1 号	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー
議案第 26 号	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー

総務委員会

(付託案件 2 件)

令和 5 年度桜井市一般会計補正予算 (第 3 号) (抜粋)

◆主な質疑応答◆

問 公立保育所の紙おむつ回収事業について、いつ頃から実施できるのか。来年度以降も継続して行っていくのか。

答 年内には全ての保育所において実施できる見込みである。

また、次年度以降も保護者の負担軽減につながるよう、引き続き継続していきたい。

問 子ども食堂運営補助金について、この事業内容に、居場所づくりや学習支援は含まれているのか。

答 子ども学習機会や、あらゆる地域の方々の交流、居場所づくりのための消耗品費等も補助の対象としている。

問 市民会館にかかるアスベスト調査に関して、この調査を実施することになった検討プロセスはどうか。これまで、市民会館と中央公民館では、中央公民館の耐震化を優先する認識であった中で、市民会館の除却の方向性が示されたと思うが、その検討プロセスはどうであったのか。

アスベスト調査期間は、どの程度必要か。また、今回の補正予算ではなく、令和6年度の当初予算で十分ではなかったのか。

答 アスベスト調査は、市民会館の除却または耐震化いずれの場合においても必要なものであるため、5月の段階で補正予算提出の方向を決めた。また、8月には、中央公民館と市民会館が一体的な建物であり、中央公民館を耐震化してから市民会館を解体することは技術的に困難であることと鑑み、中央公民館を保護しながら市民会館の解体をし、その後、中央公民館を耐震化するという方向性を検討した。調査の期間は、3か月ないし4か月と聞いている。また、今後、市民会館と中央公民館の切り離し工事等も必要になることから、今回の議案提出となった。

桜井市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正（抜粋）

◆主な質疑応答◆
問 スマートフォン用電子証明書搭載サービスは、いつからできるようになるのか。

答 国としては本年から供用開始とされているが、具体的な通知等が、まだ届いていない状況である。

文教厚生委員会

(付託案件1件)

桜井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正（抜粋）

◆主な質疑応答◆
問 条例改正の目的は何か。今後も本人承諾なしにプッシュ型で事業を行うようなケースが出てくると思うが、そのようなことも想定されている条例改正か。

答 来年秋以降、健康保険証が廃止される、個人の情報等を確認する事務については、個人番号等を使って行うこととなり、その際、個人番号を使うに当たっては、当該事務を条例で定めることが法令で規定されており、条例改正を行う必要があるため。また、マイナンバーを含む個人情報を取扱う場合は、社会保障の関係、地方税の関係、防災関係という3つに限定されており、この3つに関する事務について、条例で定める。

産業建設委員会

(付託案件6件)

市道路線の認定について（抜粋）

問 市道と隣接の河川との間は泥あげ敷になっていたと思うが、市道となりトラブルにならないか。

答 開発行為の前に区域や土地の境界面に関し、地権者とも立会いし確認している。

市道路線の変更について（抜粋）

問 変更すると、旧の道路は市道のままか。維持管理は地元がされるのか。

答 変更後の旧市道は廃道となる。維持管理は地元でしていただくよう協議する。

令和4年度桜井市一般会計歳入歳出決算認定について（抜粋）

◆主な質疑応答◆

問 市長の公務と政務の区別についてどのような考えか。

答 市民の皆さんに誤解が生じないよう、公務と政務の整理をし、慎重に活動してまいりたい。

問 保育料の収納に関し、公立保育所より私立保育所の不能欠損額が多くなっているが、どのように捉えているか。

答 原因については、一概に言えないが、督促、催告等同様に行っている。公平・公正に対応させていただく。

問 マイナンバーカード取得者に対する桜井市内共通商品券交付事業に関連し、取得促進の効果はどうか。

答 当該事業により、マイナンバーカード交付率が約30%上昇した。

問 防犯灯の設置は、申請したところから行っているのか、今後の計画はどうか。

答 区、自治会、町内会等の単位で、申請をしていただき、1つの地区で年間2台までようお願いをしている。

決算特別委員会

(付託案件8件)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 井戸 良美 |
| 副委員長 | 杉山 歳和 |
| 委員 | 鍛冶 結花 |
| | 山岡 康了 |
| | 西 忠吉 |
| | 久保田裕一 |
| | 大西 亘 |
| | 岡田 光司 |

問 無料法律相談は、予約の枠が埋まった後の方への対応はどのようにしているのか。

答 予約枠が埋まった後の問合せの対応は、キャンセル待ちの案内、中南和法律相談の案内をしている。

問 子宮頸がん等ワクチンのキャッチアップ接種対象者への勧奨は、どのように取り組まれたのか。女性に感染させないために、男性の接種について検討等はあるのか。

答 3回全てのワクチンが終了されていない方に関して、個別周知で案内

させていた。男性の接種についての検討は、まだ行っていないが、国の動き、県の動きを見極めながら、適切な時期に適切な方法を検討してまいりたい。

問 桜井市特定空家等除却支援事業補助金の補助対象に当たる物件はどのような家屋か。

答 市内の老朽危険空き家を対象としている。

※各委員会の詳細は、桜井市議会ホームページをご参照ください。
議会事務局（市役所4階・☎42・9132）で閲覧も可能です。



代表質問「新政自民クラブ」
大神神社参道整備と芝運動公園を含む周辺地域の利活用について



井戸 良美 議員

問 大神神社参道整備と沿道整備について、JR線から国道169号間については、用地買収を含め、県はどのように進められており、それに伴う沿道整備として市はどのように考えているか。また、参道整備と芝運動公園の活用についてはどうか。

答 JR線から国道169号の間について、県では、地元や本市と調整の上、大神神社の歴史伝統を感じさせる上品な参道を目指し、設計を進めていく予定をされているが用地買収にはまだ着手されていない。よりよい参道となるよう県としっかりと協力してまいりたい。また、基本計画において、芝運動公園活用促進事業として道の駅的施設等を検討することとしている。参道整備やこの地区のまちづくりの進捗を見極め、規模や内容、設置場所について検討し、財政状況を注視し、しかるべき時期に整備につなげたい。

【その他の質問項目】●インバウンド対策について



代表質問「桜井黎明の会」
松井市政の施策、取り組みについて



西 忠吉 議員

問 毎月、人口減少の一途をたどり、まちの活気が感じられなくなっている。現在のまちの姿に対し、市長はどのように感じておられるのか。市長は「かつてのにぎわいを取り戻す」とよく言われているが、どのような考えがあるのか。

答 私が市長に就任した平成23年当時は、国の三位一体改革の影響で、非常に厳しい財政状況に陥っており、ほとんどの事業がストップし元気と活力を失った状況にあった。平成26年度から新しい行財政改革へ大きく舵を切るとともに、奈良県とのまちづくり連携協定を締結し、市内5地区を中心にまちづくりを進めてきた。まちづくりを花に例えればつぼみの状態であり、まだ道半ばである。まちづくりの花を大きく咲かせることが、桜井市を甦えらせることになる。今後も着実にまちづくりに取り組んでまいりたい。

【その他の質問項目】●国民スポーツ大会等の取り組みについて



代表質問「公明党」
桜井市まち・ひと・しごと創生総合戦略について



大西 巨 議員

問 人口減少対策として伺う。①地域少子化対策重点推進交付金を活用した婚活事業を来年度から実施する用意はあるか。②同じ地域少子化対策重点交付金を活用した事例で、結婚新生活支援事業があるが来年度から取り組む考えがあるか。③一定期間その自治体に定住し、就職する等の状況を満たせば、奨学金の返済を自治体が支援する制度があるが導入する考えがあるか。

答 ①結婚相談支援に応じただけの団体等に協力いただき交付金の活用を前向きに検討してまいりたい。②これまで桜井市では結婚に関し直接的な経済支援はないが、結婚を契機に桜井市に住んでいただけるのであれば、交付金を活用した取組みの検討も必要と考える。令和6年度実施に向け検討をしっかりと進めていきい。③奨学金返済支援の制度も研究しながら、導入を検討してまいりたい。

【その他の質問項目】●学校における献血啓発について



一般質問

国技・相撲発祥の地の
取り組みについて



阪口 豊 議員

問 桜井市は日本の国技相撲の発祥地であり、それを守り、後世に伝えるため、その環境整備と情報発信が重要である。大相撲桜井場所の開催を迎えるに当たり、相撲発祥の地桜井市を広めるための情報発信として、これまで市ではどのような取り組みを行ってきたのか。

答 平成 28 年度には、桜井市、香芝市、葛城市で大和まほろば相撲連絡協議会を設立し、桜井市が初代会長市となりパンフレットの作成やウォークイベントなど、様々な取り組みを行ってきた。環境整備・情報発信については、案内看板や観光トイレの改修、または、協議会で連携してのイベントの実施や SNS での情報発信などに努めてまいりたい。また、相撲発祥の地である桜井市で行われるこの地方巡業は、大変意義深く、観光振興、地域振興の起爆剤になる。大相撲桜井場所が盛大に開催できるように全力を尽くし、今後の PR や環境整備につなげてまいりたい。



代表質問「青垣まほろばの会」

部活動地域移行について



杉山 歳和 議員

問 国や県は、部活動の地域移行を令和 5 年度から、実証事業を実施し、令和 6 年より市区町村の実情に合わせて、可能な限り早期の実現を目指すとしている。桜井市の場合、どのような推進体制を考えているか。市の現状を鑑みて問題点はないか。

答 本市においては、奈良県が掲げた令和 5 年から令和 7 年の 3 年間で、中学校の土曜、日曜の部活動指導を地域移行する方向で進めている。そのために今年度 9 月より総括コーディネーターを雇用し準備を進める。また、市が主体となって運動部活動を 1 種目設定し実証事業を行う予定である。地域移行を進めるに当たり、地域クラブ活動運営団体、実施主体の整備や指導者の確保、参加費用負担の支援等、様々な課題が考えられ、検証、課題整理を行って対策を考えていきたい。
【その他の質問項目】●桜井市公共施設再配置方針アクションプラン（社会体育施設）について



一般質問

桜井市地域活性化を踏まえた子育て支援について



久保田 裕一 議員

問 子育て支援団体の方々のご協力をいただきながら、子育て世代の方々にアンケート調査を行い、また私自身が市内で子育て真っ最中である事で、日々子育て世代の方々が感じておられる事について今回 3 点の事をご質問する。①桜井市内公園の整備について。②給食費の無償化等について。③乳幼児の健康診査について。

答 ①今後の都市公園の整備に際し、市民の皆様のご意見を伺いながら子育て世代に配慮した整備に取り組んでまいりたい。②物価高騰により今後も子育て世帯の経済負担は大きくなると予想されるため、国や県に対して財政支援を強く働きかけながら給食費の完全無償化実現に向けて努めてまいりたい。③受診に当たったの負担感や不安をご相談頂いた際には健診来所時間や待合場所等を保護者の負担や不安の軽減を図れるように努めており、安心して受診できるよう可能な範囲で配慮していく。



一般質問

市民会館と中央公民館
について



土家 靖起 議員

問 文化芸術の創造、交流、発信の拠点として必要な市民会館は大規模地震の大きな衝撃に対して倒壊または崩壊する危険性が高いとされている。中央公民館も危険な状態のまま利用されている。市民会館と中央公民館の今後のあり方について、プロジェクトチームでどのような内容の検討を行ったのか。

答 市民会館と中央公民館のあり方についてはプロジェクトチームで検討を重ね、市民会館の解体除却と中央公民館の耐震改修の方針を打ち出した。今後検討を加速化し、市民会館の解体除却と中央公民館の耐震化の具体的なスケジュールを決定し、できるだけ早い段階でお示ししたいと考える。さらなる行財政改革に取り組み、市有施設最適化整備更新基金への積立てを行いながら財源確保を行い、文化の殿堂である市民会館の再開に向けて取り組みを進めてまいりたい。
【その他の質問項目】●防災・大規模災害の備えについて



一般質問

桜井市公共施設個別施設計画の進捗状況について



工藤 敏太郎 議員

問 保育所では施設の老朽化による新たな不良箇所が発生し、修繕すべきところが年々たまっていく。現場を視察した際、マットの劣化状態などケガを心配する状況も見受けられた。事故が起こる前になんとかしていただきたいが、保育所の長期的な使用を目指すのであれば、計画的修繕や経常的修繕、機械設備の点検のためのそれぞれの財源をきちんと確保することが必要と考える。適正な予算措置ができていくのか。

答 保育所施設の老朽化の把握は、桜井市公共施設個別施設計画において、全ての保育所の棟と部位に分け詳細な劣化度調査を行っている。この結果から、保育所ごとの個別施設計画において、改修などの優先順位を設定している。改修には相当程度の予算措置が必要となるため、中期財政計画に上げ、必要な予算の確保に取り組み、子どもたちが安心安全に過ごしていくことができるよう修繕を行う。



一般質問

自治体 DX と AI の活用について



岡田 光司 議員

問 本市における自治体 DX の取組方針の実施計画にある重点取組事項の5つの項目の進捗状況はどうなっているのか。AI、RPA 利用促進で業務効率が改善できたのか。生成 AI の導入についてどう考えているのか。生成 AI の教育利用についてどう考えているのか。

答 ①自治体基幹システムの標準化、共通化②マイナンバーカードの普及促進③自治体の行政手続のオンライン化④ AI、RPA の利用促進⑤セキュリティ対策の徹底、の5項目を計画的に実施しており、これらを着実に進め DX 基盤を確立させていく。RPA 利用促進で年間約 500 時間の業務時間が短縮できた。今後も利用促進に努める。生成 AI は業務改善につながる可能性があることを認識しており、メリットを生かすことを前提に調査研究を進めたい。子ども達の利用については、今後も様々な議論がされていくと思うが、国の動きをしっかりと見定めていきたい。



一般質問

学校給食の無償化について



鍛治 結花 議員

問 ①地方創生臨時交付金を活用して保護者負担軽減のための学校給食費の無償化を昨年の10月から今年の7月まで実施して頂いた。9月以降も給食費の無償化が必要と考えるがどうか。②無償化に向けて半額負担や第2子以降無償化など段階的に実施する方法もある。市長の決断によって子育て支援が充実した魅力ある桜井市と市民にアピール出来るが、市長のご決断を求める。

答 ①学校給食費の無償化を実施すると年間2億円以上の経費が必要となる。国や県からの財政支援がない現状では恒久的な給食費無償化の実現は困難であると思っている。②少子化対策や子育て世帯への経済的支援は、全国的な課題であり、特に学校給食の無償化は、国が中心になって進めるべきであると考えている。国・県にしっかりと要望してまいりたい。

【その他の質問項目】●不登校の実態と支援について



一般質問

小学校の男女同室着替えについて



山岡 康了 議員

問 子どもの発達段階は個々に異なり、小学生低学年であっても、男女同室での着替えに恥ずかしさを感じる子もいる。また、心の性と体の性に違和感をもつ子もおり、そうした気持ちを口に出せない場合もある。たとえ小学校低学年であっても、児童が男女同室での着替えに羞恥心を感じるという意見がある場合は、十分尊重されるべきではないか。市内小学校の男女同室着替えの実態についてどうか。教育委員会として各小学校に指導するべきではないか。

答 学校では、主に高学年以上について空き教室等を利用するなど別室での着替えを行っている。また、性の多様性がクローズアップされており、中学校においては、制服についての規定を変更したケースや、誰でも使えるみんなのトイレの整備も進めている。今後も保護者、子どもたちからの様々な意見、要望にしっかりと耳を傾け、個別の事情に対応することからまずは始めていきたい。